

2018/1/17 実施予定の親の力をまなびあう学習プログラム 展開案 Rev.1 作成者：フィリップス千咲  
 対象(時間)：100名(12:50-14:50の120分予定) @広島大学教育学部キャンパスK棟201講義室

## 教材番号「1 & 15改訂版」卵の赤ちゃん～かけがえのない命へ～

【ねらい】命の大切さと、命に関わることの責任の重さを実感する。多様な視点から見ることにより、自身の心に余裕が生まれることに気づく。その生まれた心の余裕で、大切な命である他者も自身も肯定しよう。

【準備物】学習者：筆記用具

主催者：名札(105)、ワークシート(105)、アンケート用紙(98)、付箋紙(12セット)、A3紙(12×2)、マジック(12テーブル分)、フェルトペン(12テーブル分)、パック入り生卵(105)、かご(12)、雑巾キッチンペーパー(数枚)、筆記用具(数本)、ブランケット数枚(防寒用)

時間	アクティビティの展開	留意点	備考
：	○名札付け(来た順に、受付にて)	○全員が名札をつける。 ※名札にアルファベット A-P までのグループ記載	※スケジュールを板書しておく。 ※時間短縮のため一般参加者とファシリテーターがどのテーブルにつくかはあらかじめ決めておく ※生卵、付箋紙、A3紙、マジック、フェルトペン、机の上にセットしておく。
3分	○ファシリテーター(学習支援者)自己紹介、主旨・ルール・3つの約束などの説明	○和やかな雰囲気づくりに配慮する。 ○写真を撮る場合は、予め了解を取る。(詳細) ○三つの約束(発言の平等、人の発言を肯定、秘密の保守)、ただし、言いたくないこと話さなくても良い。(パス有り)  →この間にワークシート、生卵配る	
15分	<b>アイスブレイク(雰囲気づくり)</b> <b>「30秒自己紹介」</b> ○タイトル、ねらいを読む。 <b>&lt;やってみましょう&gt;</b> 「ここに卵があります。それはあなたの子どもです。さあ、一つずつ卵を手にとってください」 ① 卵を手で温める。 ② 生まれた子どもに名前をつける。 ○ワークシートに記入し、30秒自己紹介としてグループ内で発表  ○自己紹介終わったら箱に入れる(全員) ・ワークシートに記入し話し合う	○卵の名前は時間をかけてゆっくり考えてもらおう。 ○卵を生まれてくる命と捉え、その大切さや危うさを実感してもらおう。 ○手で温めながら名前を考える。 ・子どもがいる人は子どもの名前でも可 ○名前とその理由をワークシートに書く。 ・卵にも名前を書く ○自己紹介では自分の名前・(子どもの年齢)・卵の命名・その由来、の4点を話してもらおう。  ※箱には「東広島認定子ども園」の文字	・すり鉢型の講義室のため、机移動不可(学生さん下の段に座ってもらおう) ・離れて12箇所分かれて座ってもらおう  ※「忙しかった乳児期を過ぎて、卵ちゃんは集団教育に入ります。」
15分	<b>&lt;エピソードを読みましょう&gt;</b> ○エピソードを読む。(1分) <b>&lt;考えましょう、出し合ひましょう&gt;</b> ○設問①、②に記入する。(4分) ○記入したことをもとに話し合う。(10分)	○配役を決めて、読み合わせる。 ○情景が思い浮かぶまで読みこむ。 ○吹きだし部分はサラリと触れるのみにとどめる。	※「卵ちゃんもスクスク大きくなり、小学校3年生になったある日の出来事です」

<p>： 35分</p>	<p><b>&lt;さらに考えましょう&gt;</b>  「自分が小学生の頃、親や友達など周囲の人に言われたことや自分が気にしていたこと、性格や行動などに関すること。ちょっと思い出してみてください。」  ○自分が小学生時代に/他人から言われ/自身で気にしていた性格や行動を黄色い付箋紙に1つ以上書いて模造紙に貼っていく(3分)  ○他の人の黄色い付箋紙に対して、想像できる理由を青い付箋紙に書いて模造紙に貼っていく(3分)  ○黄色い付箋紙の内容をポジティブな言葉に置き換えてピンク付箋紙に書き模造紙に貼っていく。(3分)  ○記入したことをもとに話し合う。(10分)  ○話し合ったことを紹介し、意見交換する。(16分)</p>	<p>○書き出した付箋紙をA3模造紙に貼りながらグループで話し合う。  ○身近な例を示し、意見を出しやすくする。「悩んでいる」ことが、見方や捉え方を変えてみると「良さ」でもあるということなど。(例に流されないように留意する)。  ○テーマ「多様な視点から見る」をもう一度確認する。  ※青い付箋紙とピンクの付箋紙は自分が出した黄色い付箋紙以外のところに貼ってゆく。  ※黄色い付箋紙一枚に対して、青&amp;ピンク付箋紙が何枚貼られても良い。数多く、どんどん貼って下さい!  ※重複した内容の付箋紙は重ねると見やすい。  ※全ての黄色い付箋紙に対して黄色い付箋紙を書いた本人以外全員が青&amp;ピンク付箋紙を書くのが理想だが、書けないところは無理に書かなくても良い。</p> <p>※マイク回して学生に『そういうことか!』な発見があれば一つ発表してもらおう(各1分)</p>	<p>○付箋紙  ○A3模造紙  ○フェルトペン</p>
<p>： 12分</p>	<p><b>&lt;考えましょう、出し合いましょう&gt;</b>  ○ワークシート別紙表を記入する。(2分)  ○記入したことをもとに話し合う。(5分)  ○参加者から出たポジティブワードをファシリテーターがまとめて発表&amp;まとめ(5分)</p>	<p>※ファシリテーターが各テーブルを回ってポジティブワードをピックアップ&amp;発表</p>	
<p>： 23分</p>	<p><b>&lt;やってみましょう&gt;ワークシート別紙裏</b>  ③ グループ全員自分の卵をかごから出す。  ④ みんなで輪になって卵を一周回す。  ⑤ 最後は卵をパックに戻す。</p> <p>○各グループまとめ発表(15分)</p>	<p>※成長していく子どもを思う、親の気持ちを想像してみる。  ※子どもをもつ人は、我が子が小さかった頃の気持ちを思い出してもらっても良い。  ○左隣の人から受け取り、右隣の人に渡す。  →いろいろな経験をして成長していく子どもを見ていく親の思いを考えながら卵を回していく。その際「(我が子を)よろしく願います」と一声加える。  ○親の子どもを思う気持ちに気付いたり、「親になる自分」を想像したりする。</p>	<p>※オルゴール  BGM</p>
<p>： 13分</p>	<p><b>&lt;学習を振り返りましょう&gt;</b>  ○『鏡の中の僕』動画視聴(10分)  ○ファシリテーターの話</p>	<p>※動画は参考資料として。自分自身も一つの命、かけがえのない自分。多様な視点で自分も他者も肯定してあげられたらいいですね。</p>	
<p>： 4分</p>	<p>○終了・片付け  ○アンケート記入</p>	<p>→参加者全員で行う。  →アンケート記入者から流れ解散</p>	<p>・現状復帰</p>

<メモ> 12テーブル(先輩ママ、後輩ママがペアになるように着席)

- A 学7、ファシリ古玉さん、ママ さん、ママ さん(7+3)※ママ二人顔出しNGテーブル
- B 学7、ポナママ さん、ママ さん(7+2)
- C 学6、ファシリ胡田さん、ママ さん(6+2)
- D 学6、ファシリ小早川さん、ママ さん(6+2)
- E 学6、ファシリ東間さん、ママ さん(6+2)
- F 学6、ポナママ さん、ポナママ内山さん(6+2)
- G 学6、ファシリ割方さん、ママ さん(6+2)
- H 学6、ママ さん、ママ さん(6+2)
- J 学6、ファシリ中光さん、ママ さん、ママ さん(6+3)
- K 学6、ファシリ壇上さん、ママ さん、ママ さん※早退予定(6+3)
- M 学6、ポナママ坂井さん、ママ さん(6+2)
- O 学6、ファシリ徳永さん、ママ さん、(6+2)

広大生 60~80名、一般参加のお母さん15名( さん早退)、ポナママスタッフ4名、親プロサブファシリテーター9名、オブザーブ1名( さん遅刻)